

大正5年 佐賀市街精図 (展示「鉄道×さが」より)

## CONTENTS

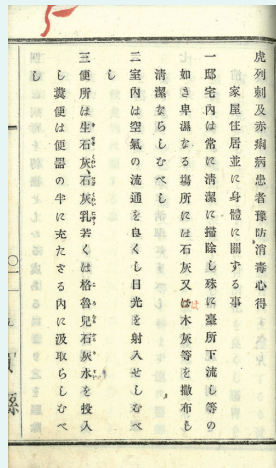
### 令和4年度展示報告

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 2   I 10年のあゆみ       | 5   活動報告         |
| 3   II 鉄道×さが        | 6   ご利用案内、所蔵利用状況 |
| 4   III 県民だよりができるまで |                  |

**展示 報告 I** 開館10周年記念展「10年のあゆみ－企画展を振り返る－」  
令和4年4月7日～8月7日

これまでの展示テーマ一覧

| 年度                     | 会期               | 展示テーマ  |
|------------------------|------------------|--|
| 平成24<br>(2012)         | 1                | 所蔵資料の紹介  |
|                        | 2                | 佐賀を襲った風水害  |
|                        | 3                | 伝染病・感染症と公衆衛生 ★                                       |
|                        | 4                | 佐賀県のシンボル   |
| 平成25<br>(2013)         | 5                | 公文書にみる明治の学校 ★  |
|                        | 6                | 佐賀に国体がやってきた！－若楠国体－                                   |
|                        | 7                | 100年前の佐賀の名品名所<br>－明治の行幸資料から－                         |
|                        | 8                | さが鉄道物語 ★   |
| 平成26<br>(2014)         | 9                | 公文書にみる大正の学校 ★  |
|                        | 10               | 佐賀測候所 明治～戦前の气象台                                      |
|                        | 11               | 佐賀県の市町村合併  |
|                        | 12               | SAGA EXPO' 69 ーようこそ佐賀大博覧会へー                          |
| 平成27<br>(2015)         | 終戦後の佐賀           |  |
|                        | 13               | シリーズⅠ－敗戦の動揺と占領下のくらしー                                 |
|                        | 14               | シリーズⅡ－行政の役割ー   |
| 平成28<br>(2016)         | 15               | 公文書から見る有田焼 ★   |
|                        | 16               | 明治期の神社－神社明細帳の数々ー                                     |
|                        | 17               | 文化財保護制度の歩み   |
| 平成29<br>(2017)         | 18               | 鍋島直正公銅像  |
|                        | 19               | 佐賀県庁舎の歴史   |
| 平成30<br>(2018)         | 20               | 1968 明治百年記念 ★  |
|                        | 公文書から読み解く明治維新と佐賀 |  |
|                        | 21               | シリーズⅠ－佐賀県の成立ー  |
|                        | 22               | シリーズⅡ－新しい仕組みの導入ー                                     |
|                        | 23               | シリーズⅢ－変わるくらしー  |
| 平成31<br>/令和元<br>(2019) | 24               | シリーズⅣ－地方自治のはじまりー                                     |
|                        | 25               | 大正・昭和の改元と天皇即位  |
|                        | 26               | 北山ダム－県内初のコンクリートダムー                                   |
|                        | 27               | さかのテレビさかのラジオ<br>－佐賀から発信！ローカル放送の昭和史－                  |
| 令和2<br>(2020)          | 28               | 明治・大正期の宗教<br>－時代の転換と人々の信仰ー                           |
|                        | 29               | “さが”のための公共建築<br>－未来を描いた建築家たちー                        |
|                        | 30               | いとお菓子さが－シュガーロードと銘菓ー                                  |
| 令和3<br>(2021)          | 31               | 1964から2020へ－佐賀を駆け抜けた聖火ー                              |
|                        | 32               | SAGAサンライズパーク百年史<br>－初飛行、協楽園、大博覧会、そして「さが<br>躍動」のエリアへー |
|                        | 33               | さかの銀行ことはじめ<br>－106番目の国立銀行と大隈重信ー                      |

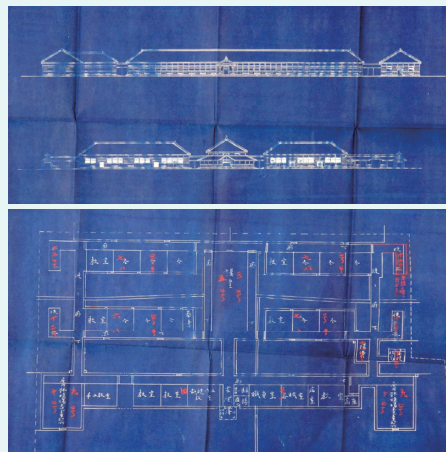


「伝染病・感染症と公衆衛生展」より  
コレラ  
虎列刺病及赤痢患者  
予防消毒心得

開館から令和三年度までに開催した全三十三回の所蔵資料展(左表)を「明治・昭和の出来事」「地域の歴史資料」「施設・建造物」「佐賀県の見どころ」「行事・式典」の五つに分類

一 所蔵資料展ピックアップ

佐賀県公文書館は、令和四(二〇二二)年四月一日に開館十周年を迎えました。十周年を記念して、これまでの所蔵資料展を振り返る資料展を開催しました。



「公文書にみる明治の学校展」より  
日新尋常校々舎設計図

し、各分類から★の資料展を選び、代表的な資料を数点ずつ展示しました。「地域の歴史資料」からは、「公文書にみる明治の学校展」・「公文書にみる大正の学校展」を紹介し、学事例規や学校建設時の文書を展示しました。



佐賀県公文書館のあゆみ 年表



公文書館のおしごと 展示パネル

二 佐賀県公文書館のあゆみ・おしごと紹介  
公文書館はどんな施設なのか、もっと多くの方に知ってもらうため、当館が設置されるまでの経緯や開館から十周年を迎えるまでのあゆみ、公文書館職員の業務内容を紹介しました。



## 展示 報告Ⅱ

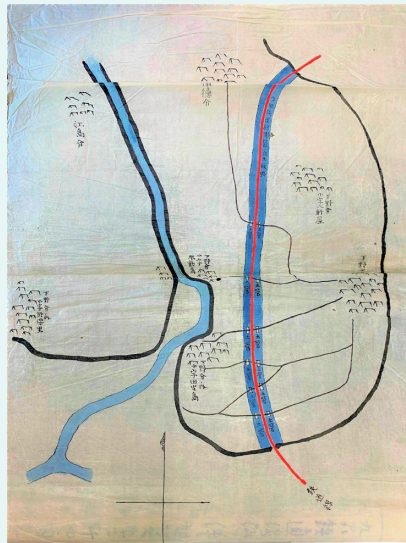
### 第35期所蔵資料展「鉄道×さがー佐賀の人・石炭・うつわを運んだ鉄の道ー」

令和4年8月11日～12月4日

鉄道開業一五〇年と西九州新幹線開業にあわせ、県内における鉄道の成り立ちから昭和にかけての鉄道史に関する資料を展示しました。

#### 一 佐賀に蒸気機関車がやってきた 九州鉄道

新橋ー横浜間に日本初の鉄道が開業した十年後、福岡県で民間による九州鉄道敷設の議論が始まります。初代佐賀県令（県知事）鎌田景弼もこの動きに賛同し、協力者を募りました。その後、福岡、熊本、長崎の政財界と力を合わせたことで、明治二十一（一八八八）年六月に敷設許可が下り、九州鉄道会社が設立されます。水運が発達していた佐賀では、議会で反対の声が上がった他、軌道が水路を遮ったことが灌漑に影響を及ぼし、賠償問題に発展しました。



千歳川(現筑後川)  
仮停車場付近路線図

こうした困難を乗り越え、明治二十二（一八八九）年十二月十一日、博多ー久留米間（千歳川仮停車場迄）を九州初の蒸気機関車が走りました。この路線は現在JR鹿児島本線となっており、その後鳥栖から西へと延伸した路線はJR長崎本線、JR佐世保線となっています。

#### 二 石炭・陶磁器をはこぶ 唐津鉄道・伊万里鉄道

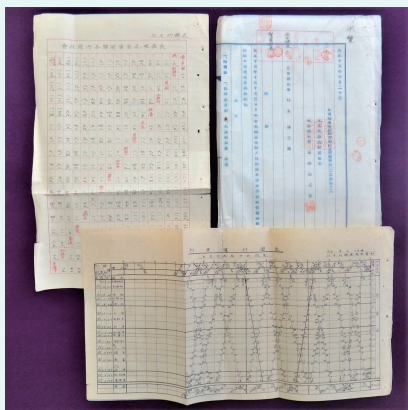
明治の頃、唐津以南で採れる石炭の多くは松

浦川から船で唐津港へ運搬されていました。明治三十一（一八九八）年十二月、唐津興業鉄道株式会社はより効率的な運炭を行おうと大島ー妙見（現西唐津）ー山本間に鉄道を開通させます。この路線は後に九州鉄道に買収され、久保田まで延伸。現在のJR唐津線となりました。

一方、有田焼を船や馬で伊万里港まで運搬していた伊万里ー有田間にも、同年八月、伊万里鉄道が開通します。しかし九州鉄道有田駅、中樽駅の開業が重なったことから、有田焼は九州鉄道經由で門司港から積み出されるようになり、伊万里鉄道は売り上げを伸ばせず、わずか四カ月で九州鉄道に買収されてしまいました。この路線は九州鉄道国有化後、長崎の佐世保と繋がり、現在は第三セクターの松浦鉄道として沿線住民の生活路線となっています。

#### 三 博多・唐津・伊万里を結ぶ 北九州鉄道

唐津鉄道開通により唐津ー博多間は結ばれましたが、唐津の人々が博多へ行くには遠回りや不便を強いられていました。次第に新路線が渴望されるようになり、唐津鉄道を設立した草場猪之吉らを中心に、北九州鉄道株式会社が設立されます。大正十（一九二一）年十月、浜崎ー福吉間から着工しますが、工事費増大と不況の



南博多ー博多間営業開始届

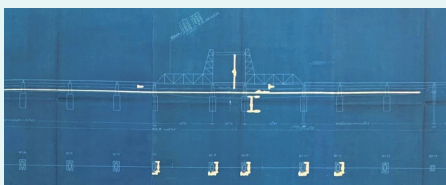
煽りを受け、松浦川を越えて唐津市街に延伸することが出来ず、川沿いを南下し国鉄山本駅に接続しました。その後、昭和十（一九三五）年三月に博多ー東唐津ー伊万里間が全通。念願の唐津市街直通は、昭和五十八（一九八三）年三月、福岡市営地下鉄乗り入れの際にやっと実現しました。これが現在のJR肥前線です。

#### 四 廃線となった路線・完成しなかった路線

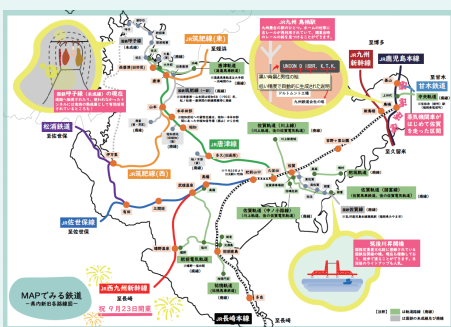
展示後半では、石炭産業の衰退と共に廃線となった運炭貨物支線（大島、柚ノ木原、相知炭坑（旧相知）、岸嶽支線）や佐賀の人々に親しまれた国鉄佐賀線、未成線となった国鉄呼子線をご紹介します。

国鉄佐賀線は国鉄長崎本線、鹿児島本線の短絡線として昭和十（一九三五）年五月に開通し、筑後川を跨いで佐賀と福岡の瀬高駅を結んでいました。しかし国鉄再建の波の中で、昭和六十二（一九八七）年三月二十八日、惜しまれながら五十二年の歴史に幕を下ろしています。

展示ではこの他、県内を走っていた馬車鉄道や軽便鉄道の紹介、広報広聴課所蔵写真や県広報紙から鉄道関連写真の掲示等を行いました。



国鉄佐賀線筑後川橋梁図面



県内新旧各路線図 展示パネル

## 展示 報告Ⅲ

### 第36期所蔵資料展「県民だよりができるまで—県広報紙のあゆみ—」

令和4年12月8日～令和5年4月9日

『佐賀県政史一九七六一二〇一九』の発刊を記念して、県広報紙の歴史・変遷の紹介とともに、広報紙の紙面で佐賀県の主な出来事について振り返る企画展を開催しました。

関連展示では、昭和五十四（一九七九）年刊行の『佐賀県政史』編さんについてや、現在県内で配布されている『県民だより』さががすき。』の制作過程を紹介しました。

#### 一 昭和二十年代～三十年代の広報紙

県政広報のはじまりは、昭和二十四（一九四九）年一月に当時の外務課情報係を拡充して報道係とし、広報事務を担う係が誕生したことがきっかけとされています。

広報紙による県政広報は、昭和二十四（一九四九）年の『県民（県民新聞）』が最初とされています。『佐賀県政史』に掲載されている写真には、題字「県民」の上に「佐賀県政弘報」とあり、県政の広報を意図して発行されたことが明確にわかります。



『けんみん』第144号  
昭和33（1958）年9月

発行の広報紙で、現在発行されている『県民だより』さががすき。』へとつながる、最初の広報紙です。当時は、冊子ではなくタブロイド判で発行されていました。

その後の判型やタイトル変更の時期は不明ですが、当館に昭和三十三年（一九五八）年九月号から、B5判横の『けんみん』が所蔵されています。『県政だより』は昭和三十七（一九六二）年四月から

#### 二 昭和四十年代～五十年代の広報紙

昭和四十（一九六五）年四月に発行されたのが『広報さが』です。

第一号あともがきには「県政広報も、県民の方々が県政により親しんでもらうため、これまでのタブロイドにかえ、新しい企画のもとに編集した」とあるほか、各地区の公民館に保存できるように規格がB5判の中綴じ形式に変更されており、様々な手に取って読んでもらえるようにとの意図がうかがえます。

『広報さが』は昭和六十二（一九八七）四月に終刊し、『グラフ佐賀』へ移行となりました。『県政だより』は昭和四十四（一九六九）年四月から昭和四十六（一九七二）年八月まで一時休刊しました。昭和四十六（一九七二）年九月に復刊して新たに第一号発行となり、現在の『県民だより』さががすき。』にある発行号数はこの時からの通号数となっています。この時の発行は年四回でした。その後、昭和五十四（一九七九）年に『さが県政だより』と名前が変わり、全てカラー印刷の紙面で年六回の発行となりました。



『県政だより』第18号  
昭和50（1975）年10月

#### 三 昭和六十年代～現在の広報紙

広報さがの終刊後に発行の『グラフさが』は、年四回の発行で、昭和六十二（一九八七）年

七月から平成七（一九九五）年の四月まで発行されました。掲載内容も「グラフ」の誌名通り写真が紙面の多くを占めています。

『グラフさが』の後に発刊された情報誌が『季刊「佐賀」Zonzo（ザンザ）』です。佐賀県の優れた自然、歴史、文化等を全国に向けて紹介する総合情報誌として活用されていました。『さが県政だより』は昭和六十三（一九八八）年四月より『さが県民だより』へ名前を変え、発行回数も毎月に変更となりました。

平成元（一九八九）年四月からの『県民だより』さがが二十一』開始号は、第百号を数える節目の号でした。『県民だより』となったのは平成五（一九九三）年四月からで、現在の判型へと変更になったのは平成六（一九九四）年五月からです。

その後、平成二十五（二〇一三）年五月から『県民だより しきさい』として新しくなり、平成二十七（二〇一五）年五月からは、『県民だより』さががすき。』となります。

そして、令和四（二〇二二）年八月に通号第五〇〇号を迎えました。「さががすき。」というタイトルには「県民の皆さんに佐賀の本質的な素晴らしさを伝えたい。さらに誇りに思っていたきたい」という想いが込められています。



『県民だより さががすき。』  
通号第413号  
平成27（2015）年5月





2022.5.15

## バックヤードツアー開催

開館10周年を迎えたことを記念して、はじめて一般利用者を対象としたバックヤードツアーを開催しました。コロナ禍での開催であったため、午前と午後とに分けて各回10名限定でのご案内となりました。当館職員から公文書館の役割や仕事についてお話しした他、展示解説やマイクロフィルムの閲覧方法の紹介を行いました。普段入ることのできない書庫内部をご案内し、明治期の色鮮やかな絵図などを実際にご覧いただきました。

当館では、学校等の団体向けにもこうした説明やバックヤードの見学申し込みを受け付けています。ご興味のある方はお気軽に当館へお問い合わせください。



# 活動報告

2022.7.25-26

## 古文書技術修復講習会参加

長崎歴史文化博物館主催の古文書修復技術講習会に当館職員1名が参加しました。博物館研究員の方々による細やかなご指導の下、裏打ち、虫損直し、和本作成などを体験。当館ではこうした講習受講を重ねながら、職員の資質向上と資料保存環境の維持対策に努めています。



2022.9.12-16、10.17-21

## アーカイブズ研修Ⅲ参加

国立公文書館主催のアーカイブズ研修Ⅲ前期・中期日程に当館職員1名が参加しました。アーカイブズ施設で働く専門官「アーキビスト」に必要な専門知識習得のため、各種講義や神奈川県立公文書館などでの実習を受講した他、個別課題研究について専門家の先生方からご助言をいただきました。



当館の利用方法などをわかりやすくまとめたパンフレットが完成しました。当館及び近隣施設などで配布中です。

当館ホームページでもデータにて内容をご覧いただくことができます。ご利用の際にぜひご活用ください。



## ご利用案内

当館はどなたでもご利用いただけます。お気軽にご来館ください。展示の観覧は無料です。県内の明治期以降の出来事などについて、調べたいがどうすればよいかわからないというような時も、お気軽にご相談ください。

### 歴史的文書検索システム

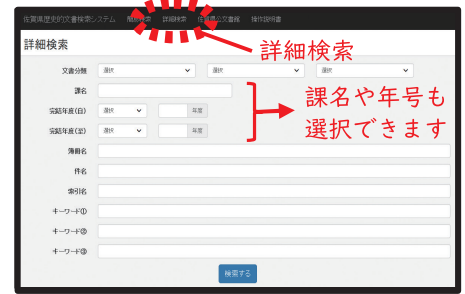
当館所蔵の歴史的な文書をお調べになる際は、検索システムをご利用ください。当館ホームページにある歴史的な文書検索システムのバナーをクリックすると、キーワード検索や、文書の年代、作成課の名前などによる詳細検索が可能です。

思うような検索結果が得られない時や、インターネット利用が難しい場合には、メール・電話にてお気軽にご相談ください。

### 文書検索結果一覧画面



閲覧希望資料をチェックし、右下の「申請書作成」ボタンを押すと「歴史的な文書閲覧等申請書」が自動作成されます。



数字を含むデータを検索される際は、半角数字、全角数字、漢数字でも検索されることをお勧めします。

### 閲覧申請

閲覧申請は、ホームページからのダウンロード又は館内受付にある「歴史的な文書閲覧等申請書」により行います。申請はメール・FAXでも受け付けています。閲覧は原本の劣化を防ぐため原則としてマイクロフィルム又はPDFファイルでの閲覧となります。

### 事前審査

歴史的な文書には個人情報を含むものもあり、個人情報保護の観点から、黒塗りなどの処理が必要となる場合があります。公開可否が要審査となっている文書の閲覧を希望される場合、申請後、審査に2週間程度時間を頂戴しています。また、文書の内容や分量によっては1カ月程度お時間をいただくことがございます。ご了承ください。閲覧のために来館される際は、事前に当館へご相談いただき、申請を済ませておかれると閲覧がスムーズです。

### 所蔵利用状況



#### 歴史的な文書所蔵数 (令和3年度末時点) ※右記は文書作成機関

|       |         |
|-------|---------|
| 知事部局  | 18,480冊 |
| 教育委員会 | 596冊    |
| 議会事務局 | 452冊    |
| 人事委員会 | 36冊     |

合計 19,564冊  
(前年比 +693)

#### 一般利用者数 (令和4年度4月～1月)

閲覧件数 147件  
見学者数 555人

## 佐賀県公文書館

〒840 - 0041 佐賀市城内一丁目6番5号  
佐賀県庁南館2階

- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 毎週月曜日、年末年始  
(ただし、月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館)
- アクセス バスでお越しの際は、JR佐賀駅バスセンターから佐賀市営バス⑥・⑳・㉔・㉕番のバス乗車、約10分。サガテレビ前バス停で下車。  
お車でお越しの際は、県庁職員駐車場の南館東側または北側の来訪者駐車場(オレンジ枠エリア)をご利用ください。

ホームページ



Twitter



お問い合わせ ☎ 0952 - 25 - 7365 / ✉ kobunshokan@pref.saga.lg.jp / FAX 0952 - 25 - 7410